

初級から上級までの一貫シリーズ

Vol. 6

# 学ぼう！にほんご 練習問題集

上級（日本語能力試験N 1 / 日本語 NAT-TEST 1 級対応）

日本語教育教材開発委員会 編著

専門教育出版



## 前書き

本書は『学ぼう！にほんご 上級』に準拠した練習問題集です。上級教科書は、全15課構成になっており、それぞれの課の大テーマに基づき、長文読解練習や文型練習のほかに、話す練習やグラフを読む練習、関連語彙の学習、聞く練習、「書く」「話す」を交えた発展練習といった実践的な練習ができる内容になっております。

本書は、この教科書で学んだ語彙や、「重要な文型と表現の学習」で扱った文型を定着させる基本的練習と、既習文型との使い分けもできるようになるための練習で構成されておりますので、教科書の補完としての役割を十分に果たすものとなります。

さらに、本書は、教科書の補完としてのみではなく、シリーズを通しての教科書学習の目標となっている日本語能力試験にも照準を合わせて構成されております。問題を解く力をさらにつけるため、5課ごとに復習する部分をテスト形式で設けました。また、各課の最後のページには、日本留学試験にも対応した読解トレーニングの部分も設けました。巻末には、上級全課を通した確認となる総合テストも日本語能力試験に対応した選択問題形式で設けてあります。

こうして、テキスト学習と公的な試験に対する学習とを一つにすることで、学習者は教室活動と試験勉強とをより親密に感じることができ、一層の充実感を持って日本語学習に打ち込めるであろうと期待しております。

本書を、『学ぼう！にほんご 上級』の学習内容の完全定着のために、また試験対策の一環として、十分にご活用いただければ編著者としてこれ以上の喜びはありません。

2010年5月

編著者代表記す

## 本書の使い方

### 「練習」「似ている表現を使い分けましょう」

- ・各課の問題ⅠとⅡは教科書で学んだ語彙の確認、問題Ⅲから問題Ⅶまでは教科書で学んだ文型の基本的な練習によって成り立っています。
- ・「似ている表現を使い分けましょう」の部分は、その課で学んだ文型を、シリーズを通してそれまでに学んだことのある、意味や形の似ている文型と使い分けられるようになることを目的にしています。教科書本冊の練習から一步進んで、正確さや適切な使用に必要な力を養っていただけます。◀◀マークの後には、既習文型がシリーズのどのレベルのどの課で扱われていたか一目で分かるように掲載しましたので、そこに戻って確認する時にお役立てください。

### 「プラス1」「読解トレーニング」

- ・各課の6ページ目にある「プラス1」の部分では、上級までの教科書本冊で扱われなかった、あるいは出ていても十分に練習できなかったと思われる日本語能力試験N1、N2の出題範囲に該当する文型について、紹介しております。中上級練習問題集と合わせて、N1レベルまでの文型の習得を目標とします。
- ・「読解トレーニング」は、日本留学試験でも頻繁に出題されるようなパターンの読解問題を選定し掲載してあります。教科書の長文を読み解く練習とは別に、短い時間を使って要点を捉える練習や、ポイントを絞って読む練習など、試験に必要な力を培うものとしてお使いいただけます。

### 5課ごとの復習テスト

- ・学習事項が多くなってくるこのレベルに合わせて、何度も思い出す機会を作るため、5課ごとに、それまで学習した部分を範囲とする復習テストをつけました。

### 総合テスト

- ・巻末に総合テストを2部つけました。実施は全課終了時点を想定し、内容は語彙、文法、読解を含んだものとなっております。すべて教科書本冊と本練習問題集で学んだことになっておりますので、学習達成度を測るものとしてお役立てください。また、日本語能力試験の新形式に対応した問題形式も出題しておりますので、試験対策にもお使いいただけます。

# 目次

前書き.....	3
本書の使い方.....	4
第16課（地理）.....	6
第17課（家族／家庭生活）.....	12
第18課（情報化社会）.....	18
第19課（日本の文化）.....	24
第20課（医療）.....	30
第16課～第20課 復習テスト.....	36
第21課（犯罪）.....	40
第22課（科学技術）.....	46
第23課（文学／芸術）.....	52
第24課（法律）.....	58
第25課（人間関係）.....	64
第21課～第25課 復習テスト.....	70
第26課（政治）.....	74
第27課（心の豊かさ）.....	80
第28課（生命倫理）.....	86
第29課（経済）.....	92
第30課（国際化／多文化社会）.....	98
第26課～第30課 復習テスト.....	104
総合テスト①.....	108
総合テスト②.....	116

## 第 16 課 (地理)

**問題 I** □の中から言葉を選んで、書きましょう。

(例) 2010年現在、キリバス共和国は 日付変更線 に最も近い国である。

- (1) 国際会議では、\_\_\_\_\_の\_\_\_\_\_争いが激しくなることがある。
- (2) 水はけが悪いという土地の\_\_\_\_\_を利用し、\_\_\_\_\_が作られる。
- (3) 一世帯\_\_\_\_\_の二酸化炭素の排出量は少しずつ減ってきているらしい。
- (4) 様々な地域の\_\_\_\_\_を安く買えるので、会場には幅広い\_\_\_\_\_の人々が\_\_\_\_\_と集まってきた。
- (5) 彼の成功までの\_\_\_\_\_は、決して楽なものではなかった。
- (6) この都市はあの国の基準の都市と\_\_\_\_\_は異なるが、同じ\_\_\_\_\_に位置するので、\_\_\_\_\_がない。
- (7) 交通\_\_\_\_\_にしたがって車の速度を落とした。

主要国	時差	日付変更線	緯度	経度	主導権	測量	標識
特産物	道のり	層	水田	性質	各々	続々	展望
							当たり

**問題 II** □の中から言葉を選び、必要ならば形を変えて書きましょう。

(例) この国は海運業が盛んで、様々な国に物資を 輸送して いる。

- (1) \_\_\_\_\_商品は、品質に問題がある場合もあるので注意したいものだ。
- (2) 駅前の通りには、たくさんの飲食店が\_\_\_\_\_いる。
- (3) \_\_\_\_\_ところで仕事を中断して、打ち合わせをしましょう。
- (4) 雨で試合の開始時間が\_\_\_\_\_ので、終わるのも少し遅くなるだろう。
- (5) 賛成とも反対ともとれるような\_\_\_\_\_意見ばかり言われて、こちらも\_\_\_\_\_いる。
- (6) 海を\_\_\_\_\_高い丘の上に建つこの旅館は、露天風呂からの眺めが最高だ。
- (7) 専門用語を多用されると、意味を的確に\_\_\_\_\_のが難しい。

ずれる	割り切れる	連なる	見下ろす	捉える	寄る	統一する
輸送する	選定する	困惑する	安価な	中途半端な	切りがいい	

**問題 III** □の中から ( ) に入る言葉を選びましょう。

(例) あの世界は巨大デパートの建設を皮切りに、( b )。

- (1) この事件は新聞で報道されたのを皮切りに、( )。
- (2) 彼女のコンサートは東京公演を皮切りにして、( )。
- (3) 去年は大学合格を皮切りにして、( )。
- (4) 彼は映画の出演を皮切りとして、( )。

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| a. 世界中で行われた           | b. 様々な施設が建てられていった |
| c. 全国に知られていった         | d. いいことばかりの一年だった  |
| e. 様々なメディアで顔を見るようになった |                   |

**問題 IV** \_\_\_\_\_ に適切な表現を入れましょう。

(例) 我が社は、性別や年齢 にかかわらず、やる気のある方を採用します。

- (1) 最近、\_\_\_\_\_ にかかわらず色々な果物が食べられるようになった。
- (2) 誘われたなら、\_\_\_\_\_ にかかわらず、連絡はするべきだと思う。
- (3) 仕事で人と接する時は、\_\_\_\_\_ にかかわらず、丁寧に接するべきだ。
- (4) \_\_\_\_\_ にかかわらず、芸術家の作品というのはすばらしいものだ。

**問題 V** ( ) に「ある・する・の」を入れ、言葉を並べ替えて、正しい文を作りましょう。

(例) 「すし」 / 一口に / その種類は / と言っても、 / から ( ) / 十数種類

→ 一口に「すし」と言っても、その種類は十数種類からある。

- (1) 幅が / この川は / 100メートル / らしい / 狭いところでも / から ( )  
→ \_\_\_\_\_。
- (2) 300冊 / 捨てる / 私の / マンガを / ことにした / 全部 / から ( ) / 部屋の  
→ \_\_\_\_\_。
- (3) 彼 / から ( ) / ものだ / コートは / 高級な / 10万円 / の  
→ \_\_\_\_\_。
- (4) から ( ) / 集まった / 3000人 / が / マラソン大会には / 参加者  
→ \_\_\_\_\_。

**問題 VI**

□の中から適切な表現を選んで、必要ならば形を変えて( )  
に入れ、\_\_\_\_\_には適切な表現を入れましょう。

(例)雨が( 降ろ )うと( 降る )まいと、明日の遠足は実施される。

- (1) 彼が( )うが( )まいが、会議の時間は決まっているのだから、  
\_\_\_\_\_。
- (2) 酔って( )うが( )まいが、少しでもお酒を飲んだのなら  
\_\_\_\_\_。
- (3) ( )うが( )まいがあなたの\_\_\_\_\_ですが、私は  
自分がした体験をありのままにお話ししたつもりです。
- (4) 大学へ( )うと( )まいと、勉強は\_\_\_\_\_ だから、  
しっかりとやっておくべきだ。
- (5) 人は( )うと( )まいと、他人を\_\_\_\_\_言葉を  
発してしまうこともある。

降る いる 来る 行く 信じる 意識する

**問題 VII**

□の中から適切な表現を選んで( )に入れましょう。  
\_\_\_\_\_には適切な表現を入れましょう。

- (1) \_\_\_\_\_や性別( )地球人として環境保護に努めようという  
団体の活動がA国で\_\_\_\_\_ ( )世界各国で次々にそれに  
同調する団体が作られた。
- (2) その分野のことをよく\_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ ( )  
1,000 ページ ( ) 本を\_\_\_\_\_ というのは無理な話だ。

を皮切りに にかかわりなく が-まいが からある

## 似ている表現を使い分けましょう

I. { } の中から最も適切なものを選んで○で囲みましょう。

- (1) アルバイトで留学生と友達になったこと { を皮切りに・をきっかけに・をもって }、自分も留学してみたいと思うようになった。
- (2) 今年も東京での公演 { を皮切りに・をきっかけに・をもって・を通じて } 全国5か所を回るコンサートツアーを予定している。
- (3) 今回の東京での公演 { を皮切りに・をきっかけに・をもって・を通じて } 音楽活動をしばらく休止することに致しました。
- (4) 時々話し合いの場を持つこと { を皮切りに・をきっかけに・を通じて }、お互いの理解を徐々に深めていけたらいい。
- (5) そのコンピューターは、2月下旬のアメリカでの発売 { を皮切りとして・をはじめとして・をもとにして } 世界各国で続々と発売される予定だ。
- (6) コンピューターの整備状況が、アメリカ { を皮切りとして・をはじめとして・をもとにして }、ヨーロッパ、アジアの諸外国でどのようになっているかを日本と比較するつもりだ。

II. ( ) に入る最も適切なものを下の a～e から選びましょう。

2つ入るものもあります。

- (1) このレストランは、休日 ( ) こんなに人が少ないなんて、大丈夫なんだろうか。
- (2) このレストランは、曜日 ( ) 食事時になると多くのお客さんでにぎわう。
- (3) このレストランは味 ( ) 店員の気配りがすばらしいので、私はよく食べに来ている。
- (4) このレストランは平日休日 ( )、いつも人でいっぱいだ。
- (5) このレストランは、不況で売り上げが伸びない周囲の店 ( )、毎日人が並ぶほど繁盛している。

- |           |             |         |
|-----------|-------------|---------|
| a. にかかわらず | b. にもにかかわらず | c. を問わず |
| d. をよそに   | e. はともかく    |         |

Ⅲ. { } の中から最も適切なものを選んで○で囲みましょう。

- (1) 数十万円 { からある・からする } 借金を毎月返していくのは大変なことだ。
- (2) 数十万円 { からある・からする } 宝石をいくつも気にせず買うとは、彼女はどんな大金持ちなんだろう。
- (3) 入社5年目 { からある・というもの・にして・にあっては }、やっと仕事のやり方だけでなく人間関係も大事なのだということに気づいた。
- (4) 会社の危機 { からある・というもの・にして・にあって }、みんながんばっているのに、自分だけ転職することはできない。
- (5) 会社を設立して10年 { からある・というもの・にして・にあって }、社長は一日も病気で休んだことがない。
- (6) この会社は都内に100か所 { からある・というもの・にして・にあって } 土地を占有している。

Ⅳ. ( ) に入る最も適切なものを下の a～d から選びましょう。

2つ入るものもあります。

- (1) 私がどんなに反対 ( )、彼は自分の意志を曲げないだろう。
- (2) 私が賛成 ( )、あなたは気にせず自分のやりたいことをやればいい。
- (3) 日曜日に何を ( )、私の自由だ。
- (4) パーティーに出席 ( )、私の自由なんだから、どうするかは自分で決めます。
- (5) パーティーを欠席 ( )、行かないということを伝えておいた方がいい。
- (6) 親戚をパーティーに招待 ( )、結婚の報告ぐらいはするべきだ。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| a. しようがするまいが | b. しようが        |
| c. するとしても    | d. するにしろしないにしろ |

◀ 初中級 9・12・19 課 / 中級 24・29・38 課 / 中上級 7・10・14・15 課 / プラス 1 ⑦

## ★プラス1 ⑬

Vる / Vない + ように (～という目的が実現することを期待して)

例) 誰でもよく見えるように大きな字で黒板に書いた。

家族を起こさないようにそっと家を出た。

(1) あの人は\_\_\_\_\_ように、毎日ジョギングしているらしい。

(2) 多くの人がパーティーに参加できるように、\_\_\_\_\_。

(3) 私は\_\_\_\_\_ように、\_\_\_\_\_ている。

## 読解トレーニング

問い 文章の内容と合っているものはどれですか。

京都と言えば、祇園祭ぎおんまつりや大文字焼きだいもんじやが有名である。毎年大勢の観光客であふれているが、京都の夏は暑く、そして冬の寒さは厳しい。京都の8月の平均気温は、ほぼ同じ緯度にある千葉県ちやうしの銚子よりも約3℃も高い。一方、京都の1月の平均気温は、銚子よりも2℃ほど低い。いったい、なぜこんなに差が出るのだろうか。

これには、水の性質が関係している。水は空気に比べて「温まりにくく冷めにくい」性質を持っている。そのため、水が大量に存在する地域、つまり、海辺や水辺では昼夜の温度の差が小さくなるが、水の少ない内陸部、特に砂漠地帯では、昼夜の温度差が非常に大きくなる。また、年間気温に関しても、千葉県ちやうしの銚子のような、三方を海に囲まれた土地さんぽうでは、海にある大量の水が、気温の変化を和らげてくれるため、夏と冬の寒暖差かんだんさが比較的小さくなる。反対に、京都のような海のない内陸の盆地では、夏は陸地が太陽熱で温まる一方で、海などに熱が逃げないためにとっても暑くなり、また、冬には陸地は冷える一方で海からの熱の供給がないため、寒くなるわけだ。

1. 水は熱をためやすいので、水が多くある銚子では、京都より常に気温が高い。
2. 水は空気より冷めにくいので、水が豊富な京都では、夏も銚子より気温が高い。
3. 水は空気より熱を逃がしにくいので、銚子は水の少ない京都よりも冬暖かい。
4. 水は空気より温まりにくいので、京都は銚子より一日の気温変化が緩やかだ。